

事務事業評価シート

(H.29)No.	5008	(H.28)No.	5008
-----------	------	-----------	------

事務事業名	教育集会所管理費		
担当部局名	担当室名	室長名	
地域環境部	人権・男女共同参画推進室	旭 久子	

会計区分	事業コード	102501
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 総務費	教育集会所費	
項 人権政策費	(小事業名)	
目 教育集会所費	教育集会所管理費	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	支え合い健康でいきいきと暮らせるまち
	基本施策	1	人を大切にする社会の創造
	施策	1	人権尊重
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
各教育施設の環境を整えることにより、地域住民の学力・文化の向上をめざした活動等の取組につながります。
事業内容
教育集会所を「人権のまちづくり」拠点の一つとして位置付け、小中学生を対象とした学力保障の取組や、差別に負けない仲間づくりのための解放学習会、成人を対象とした識字教室、地域住民を対象とした人権学習会、文化祭等開催します。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.28年度(事業量・取組実績)	H.29年度(事業量・取組計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	◎事業推進報償費 ・小中学生対象学習教室 年間177回開催 (比115,-27,赤35) 310千円(赤のみ) ・成人対象識字教室 年間63回開催 (比35,-16,赤12) 270千円(赤のみ) ・地域住民対象人権学習会等 年間34回開催 (比9,-3,赤12,百10) 190千円 ◎教育集会所維持管理経費 832千円 *比:比奈知、一:一ノ井、 赤:赤坂、百:百々 ※比奈知、一ノ井の学習、識字教室の経費は隣保館管理費から支出	◎事業推進報償費 ・小中学生対象学習教室 年間179回開催予定 (比115,-29,赤35) ・成人対象識字教室 年間63回開催予定 (比35,-16,赤12) ・地域住民対象人権学習会等 年間32回開催予定 (比7,-3,赤12,百10) ◎教育集会所維持管理経費 *比:比奈知、一:一ノ井、 赤:赤坂、百:百々	・教育集会所事業推進報償費等	・教育集会所事業推進報償費等	・教育集会所事業推進報償費等

	H.28年度(決算見込)		H.29年度(作成時予算額)		H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)
	H.27繰越分	H.28現年分	H.28繰越分	H.29現年分			
①直接事業費		1,957千円		1,979千円	1,979千円	1,979千円	1,979千円
内訳(千円)							
国・県支出金				23	23	23	23
地方債							
その他(諸収入)		7		7	7	7	7
一般財源	0	1,950	0	1,949	1,949	1,949	1,949
人工数		1.63人		1.50人	1.63人	1.63人	1.63人
職員							
臨時職員等							
②概算人件費	0千円	12,225千円	0千円	11,250千円	12,225千円	12,225千円	12,225千円
①+②総事業費	0千円	14,182千円	0千円	13,229千円	14,204千円	14,204千円	14,204千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.28年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
市民の人権意識の向上を図る拠点施設として、周辺地域を含む多くの市民に気軽に活用してもらえる施設を目指して管理運営に努めました。教育集会所を拠点として開催される主要な事業については、地元自治会や公民館、人権関連団体等の多様な団体が集い、連携(実行委員会の結成など)して取組を進めています。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(改善)
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	6. 事務事業の取組に関する市の計画
地域の子どもの学力保障、地域住民の人権意識高揚の拠点施設として、今後、人権のまちづくりを全市的に推進する際に教育集会所が果たすべき機能を明らかにし、効率的な施設管理に取り組みます。	名張市人権施策基本方針 名張市人権施策基本計画